

令和7年度村づくり懇談会 記録シート

日 時：3月10日（火）18：30～20：00

対象地区：中新田

会 場：中新田公民館

いただきましたご意見の概要及び回答は以下のとおりです。

発言者のご意見
区民の人口が多い。農業者人口も多い。同一職業に伴う共通意識が高い。地区行事も多い。逆に役の負担もでてくる。自然環境がいい。
村の回答
人口多いのは他地区からみれば羨ましい点。役員負担は増えてしまう。人が多いのは改めて強みとを感じる。
発言者のご意見
役になることについて本人の選択の余地がない。やり過ぎせばあとは知らない気持ちなのかなと感じる。役員がやりやすいようになればいい。区長に立候補する人はいない。村全体で考えてほしい。
村の回答
区の役員について、本人の承諾がないのは驚き。DX推進室長は頼もしい方、ぜひ連携していきたい。
発言者のご意見
地区行事。伝統がある。残していかないといけない。
村の回答
入区の取組は転入手続きで区加入をアナウンスしていく。より力を入れて取り組んでいきたい。中新田区は村の発展の中心を担ってきたと思う。
発言者のご意見
生活スタイルの変化。共働き世帯の増加。高齢化が進んでいる。近所づきあいの減少。
村の回答
子ども達はかなり減っている現状。ライフスタイルの変化。人が減っていくという初めてのフェーズ。村も改革が必要。柏木区でも改革は答えがでなかった。難しい問題である。

発言者のご意見
区の役員選出。役員の負担軽減。漠然としている。何をすればいいか分からない状況。区として業務を精査する必要がある
広報配付世帯数は把握している世帯数より倍近い。説明してほしい。区に入らない人が多いのか。世間のしがらみをやりたくない方もいる。村に取組を紹介してほしい。
村の回答
世帯数は639。広報が385この差は何かということを感じる。同じ番地で世帯が2つある等の理由があげられる。
発言者のご意見
村からの補助金について、世帯数がベースだが、災害対応の時は全員が対象。補助金は何が対象か。
村の回答
均等割り等で算定している。広報配付等の名目があるため、それにあった使い方をしてもらいたい。しかし、実績は求めている。国の交付金については、世帯数に応じて交付している。
発言者のご意見
村の歴史は中新田から。有形文化財がある。日本の美しい村加入。深山地区のラベンダーとの景観。景観地区の会の役員のなり手がいるが、作業人員の減少が続いている。出払い報酬が区の報酬より低い。村からの補助金が少ないためである。また、役場担当者がはっきりしない。役員の任期があいまい。
村の回答
補助金の件、しっかり検討していきたい。環境係が事務局である。2023年幸福度ランキング等で注目されている。
発言者のご意見
15年前に移住してきた。人と人のつながりがいいところ。自分から話かけていけば対応してくれる。一度も嫌な思いをしたことがない。ここを終の住処にする。老人会は、上下関係がかなりある。自由に言えない。いい意味でとらえている。
村祭り、ある程度の年齢で卒業。顔を出さなくなる。次の世代の人がやりやすいように。世代間のズレがあると嫌。卒業の意味。
防災のキーパーソンは率先避難者。まず声を上げる人。声掛けをすることがかわっていききっかけとなる。
村の回答
次の世代に渡すことは課題となる。最初に参加するには勇気がいる。

発言者のご意見
区会議員6年目。楽しくやれればと思う。他の方と考え方が違うには、めんどくさいことをいかに楽しくできるか。ポジティブな人間。
村の回答
この方は子どもたちのためにスポーツ環境を整えることを一緒になっている。楽しくやっていきたい。
発言者のご意見
良いところは人間関係が強い。課題は、高齢化。担い手不足。価値観の多様化。同じやり方でやるには難しい。防災等はやり方は変えられない。課題は、加入＝責任が重いというイメージを変える。入る・入らないの2択だが、別の選択肢を。最初の一步目を入りやすく。ルールを理解しやすいようにする必要がある。
村の回答
一步目の入りやすさは大事。他地区で区の内容をまとめて渡してほしい意見もいただいた。一度整理をしてみたい。
発言者のご意見
良いところは、伝統がある行事。人が多いところ。課題は、高齢化等で出払いの参加率減少。若者の負担増。作業量が多くなっている。
村の回答
今までよりも仕事が増えている現状がある。将来出払いできるかのレベル。今から考えるべき課題である。
発言者のご意見
生まれてずっと中新田。あたりまえであるため、良いところは思い浮かばない。区費の透明化はやったほうがいい。何にいくら使われて、生活に還元されているか。整理して加入者に。区加入には妥協点を見つけた制度設計をした方がいい。入区の義務化を掲げるのは法に反するのではないか。あくまで任意。そこは解決にならない。
村の回答
区のウェルカム宣言をするイメージ。
発言者のご意見
区費の使い道。どういった活動は有意義。透明化は考えていく必要がある。いきなり加入の有無を決めさせる点。一案だが、村から情報をもらい、区の加入のメリットは何かではなく、入区は自分の環境を維持できるという意識を持ってほしい。情報のデジタル化は一部進めている。行政でも技術的補助をしてほしい。
移住者に対しての説明方法。村は区役所にいってと声がけしてもらえれば。不動産屋にもそういった説明をしたほうがいい。新しい人のつながり難しい。

DxによるLINE配信いいことだと思うが、停電時に区の情報が伝えれない。
どんな参加方法があるか整理していくといいと思う。ごみステーションの件で中新田区に相談したらルールをつくってくれた。感謝している。フレキシブルにやっている。区費の段階的加入していればいい。区費の使い道が見える化。責任の自覚。外部から見ると自然環境はとても魅力的。深山地区の乱開発について懸念がある。村のブランド力。ルールを設けてもいい。
村の回答
乱開発はしっかり検討していく。
発言者のご意見
移住者の想いを伝えに来た。入りたくないわけではない。東京だと行政がやってくれる。ほとんどの人が東京では入っていない。移住者に一緒に村をつくっていく意識が必要。一緒につくっていくものだと。一種の税金である。サービスに対しての対価。一緒にやっていくもの。最初のスタートで説明するべき。あなた自身の役務がある。一緒にやっついていかないといけない。区費うんぬんではない。移住者の関り方が見えない。区の行事に参加した方がいいのか。よくないのか。準会員でどこまでやっついていくのか分からない。
村の回答
移住者の率直な意見大事にしていきたい。
発言者のご意見
少子高齢化。負担増。地域と関わりたくない意見も聞く。生活するうえでは難しいと思う。移住者と地元との意見の差。この場合は貴重。子育て世代に手厚いと思うが、モデルケースを参考に区としてもできることをやっていきたい。